

COVID19 感染予測 簡易モデルの解釈と概要
(文責：神奈川県立保健福祉大学
新型コロナウイルス感染者情報分析 EBPM プロジェクト分析チーム)

2021年9月26日時点の推計の解説

(1)～(3)のグラフでは、今後28日間(9月27日から10月24日まで)に重症者、入院治療を必要とする者、療養者(入院していない)の日毎の予測を示しています。

(1)の図表は神奈川県全体の重症数についての実績と予測で、横軸が日付を、縦軸が重症者数を示します。図中で9月26日より左側の曲線は、9月26日までの実績値を示します。それ以降10月24日までの予測は、「最もよく起こる(実線)」、「最良(破線)」、「最悪(点線)」という3つの予測シナリオを示しています。

この重症数についての実績と予測グラフでは、3つの予測シナリオが全て9月27日以降、一貫して重症者数が減少しています。4週間後である10月24日の推計値は、「最もよく起こる(10人)」、「最良(10人)」、「最悪(14人)」です。

注：今回の予測シナリオでは小数点以下を切り上げしていることもあり、最初の2つのシナリオ(「最もよく起こる」と「最良」)は同じ値になりましたが、通常は異なる予測値を示します。

この図表中の茶色の横線は、9月26日時点での重症者用の最大確保病床数(210床)を示します。予測を行った10月24日までの4週間の期間において、予測された重症者数は、この重症者用の最大確保病床数を常に下回りました。すなわち、この期間の重症者用病床は充足していると予測されました。

(2)の図表は神奈川県全体の入院者数についての実績と予測です。(1)の図表と同様、4つの曲線は、9月26日までの実績(左側の曲線)と、それ以降4週間後の3つの予測シナリオ「最もよく起こる(実線)」、「最良(破線)」、「最悪(点線)」を示しています。

この図表が示すように、3つの予測シナリオでは、9月27日以降一貫して入院者数が減少しています。4週間後である10月24日の推計値は、「最もよく起こる(73人)」、「最良(73人)」、「最悪(102人)」です。

この図表中の赤色の横線は、9月26日時点での最大確保病床数(2,000床)を示しています。予測を行った9月27日から10月24日までの4週間の期間において、予測された入院者数はこの最大確保病床数を常に下回りました。従って、この期間の病床は充足していると予測されました。

(3)の図表は神奈川県全体の療養者数についての実績と予測です。他の図表と同様、4つの曲線は、9月26日までの実績(左側の曲線)と、それ以降4週間後の3つの予測シナリオ「最もよく起こる(実線)」、「最良(破線)」、「最悪(点線)」を示しています。

このグラフでは、3つの予測シナリオ全てにおいて9月27日以降、一貫して療養者数が減少すると予測されています。4週間後である10月24日の推計値は、「最もよく起こる(186人)」、「最良(187人)」、「最悪(285人)」です。